

平成28年度 各郡市の研究活動報告（妙高市）

会長 川住 晴彦
副会長 松永 哲郎
評議員 松永 哲郎

1 研究活動の方針「特色を生かした『連携と協働』の推進」

妙高市は、「豊かな感性をもち、生き生きと未来を拓く妙高っ子の育成」を目標に、「自然と他者とのかかわりがはぐくむ 豊かな心」「『ほんもの教育』を通してはぐくむ 確かな学力」の向上、「継続と挑戦が生み出す たくましい体」の育成に力を入れている。

園・学校間連携や校種間連携など、市教育研究会の組織を挙げての「連携と協働」が欠かせない。妙高市教育研究会は、認定こども園・保育園、小・中・特別支援学校の会員で構成されている。この特色を生かし、幼児教育から義務教育段階まで幅の広い教育実践を基に会員の資質・指導力の向上を目指している。

2 研究活動の実際

(1) 研究活動の組織

○評議員会 ○運営委員会 ○部会（重点、専門、教科領域、園・学校運営）

(2) 各組織の活動

①一斉研修会

○春 市の教育方針、重点目標についての共通理解

○夏 講演「郷土の山 妙高山を学ぶ、妙高山から学ぶ」 市教委との共催

○秋 教科領域ごとに、授業研究等による研修

②重点部会（年2回開催。「」は研究主題）

○生徒指導「いじめ・不登校対策の現状について考える」

○特別支援教育「『つなぐ特別支援教育』の充実」

○人権教育、同和教育「同和教育を中核とした人権教育を推進するために授業改善を図るとともに、教員自身が研修につとめ、人権感覚を豊かにする」

③専門部会（年2、3回実施。園、学校の該当職員が所属）

○幼児教育 ○学校事務 ○養護教諭 ○栄養士・栄養教諭

④園・学校運営協議会（年1回実施。校長、教頭、園長が所属）

○研究主題「地域の特色を生かし、地域とともに歩む園・学校づくりの推進」

⑤教科・領域部会（年3回実施。13部会。専門部以外の会員が全員所属）

(3) 研究刊行物「妙高の教育」No.12（3月発刊）

(4) 第11回小・中・特別支援学校音楽発表会（11月11日実施）

3 市小教研が関係した研究会等

○新潟県同和教育研究集会妙高大会 妙高市文化ホール等 8月4日

○上越地区社会同和教育市町村巡回研修会 妙高高原中学校 11月4日

○上越国語教育連絡協議会秋季研修会 新井北小学校 11月25日